

画期的な薬剤開発

活性炭リサイクルと環境に配慮した薬剤。ものづくり企業の現場視点で要望に応える

貴和化学薬品の強みは、時代の変化を俊敏に捉え、現場での課題に取り組んでいくこと。その一つは、日ごろの顧客からの要望で生まれた製品開発。同社の金属表面処理剤は、個々の要望にきめ細かく対応しており、現在、300種類以上にも及ぶ。「ものづくり現場に必要なのは革新的なものではなく、日々のお困りごとに対応し解決することだと思うんです」と田中健治社長。また、六価クロムやリンを含まない環境にやさしい製品を開発し、大阪府の市場参入事業

化プロジェクトの支援も受け、新製品の販路拡大を目指す。もう一つは、環境配慮への時代の流れで生まれた販売体制。これまで古くなった活性炭は、購入した企業が産業廃棄物として処分していたが、同社は自社専用車でこれを回収するリサイクル体制を確立。「アフターサービスまで一貫させることで強い販売力となりました」と田中社長。回収車も地球環境にやさしいイメージでデザインし、環境配慮への見える化を図っている。



廃棄の手間と環境配慮から回収することを考えた活性炭専用回収車

活性炭を中心とする各種有機・無機工業薬品などの卸売販売、金属表面処理剤の企画・製造・販売

貴和化学薬品株式会社
大阪府豊中市庄内栄町 5-5-24
TEL.06-6334-4541
<http://www.kiwachem.co.jp/>

デザイン力で勝負

暮らしのなかの“あったらいいな”をデザインで表現し企画商品を生み出す

台所や内装の金物工場から、企画、開発、製造、販売のすべてを手がけるものづくり企業に進化した久宝金属製作所。「デザインは色や形ではなく、暮らしぶりの提案。『困りごと』や『あったらいいな』が『ワクワクするエピソード』に生まれ変わるような製品を作って行きたいですね」と古川多夢社長。同社の【レールシェルフ】は、収納ではなく飾ることに特化するという発想の転換から生まれた。スタイリッシュなシンプルさが評価され、JID Design Awardを受賞。そのほか、一筆書き構造にひねりを加えた【インテリア棚受】、子どもが楽しく安全にエコを学べるペットボトルつづし機【PET&ECO(ペタンコ)】で、グッドデザイン賞など多数受賞。「大企業が狙わない小さな市場や個人の需要に注目し、ファンになっていただける良い製品を作り続けることが私たちの使命です」



【レールシェルフ】は、日本の住宅に多い石膏ボードやタイル、コンクリート壁にも取り付け可能。アルミ、ガラス、木製などバリエーションも展開

金属加工製品の町工場として創業。現在、デザイン性と機能を併せ持つインテリア関連製品を企画・製造・販売する

株式会社久宝金属製作所
大阪市城東区今福西 5-2-25
TEL.06-6978-4710
<http://q-ho.com/>

マネできない技術

2色成形の卓越した技術で高級感、リアル感を表現したプラスチック製品



【vegecup】は、濃淡2色のレタス、紫キャベツの3種類展開。

株式会社新昌化学工業所
大阪府東大阪市岸田堂西 2-8-4
TEL.06-6728-0135
<http://www.sinsyo.co.jp/>

照明器具製造で2色の樹脂を流し込み加工する2色成形を確立。その技術を生かし、オリジナルのプラスチック製品を企画、開発、製造する。代表商品が大理石調マーブル模様で作られた洗面器などのバスグッズ。本物のような高級感を表現でき百貨店で販売された。続く木目調のマーブル模様を表現した【匠】シリーズも人気が高い。2色成形技術を活用し、新たにアイデア商品【vege cup(ベジカップ)】を販売。

「緑と白の2色を絶妙に合わせ、レタスの葉のようなお弁当カップを開発しました」と山田社長。非対称なものを作るのは難易度が高く、モデルデザインを3Dスキャンしたデータをもとに金型を作った。2014年6月の展示会で発表した直後から、雑誌やテレビの取材が相次ぐ人気。社長直下の女性企画チームが、消費者の気持ちをくすぐる生活グッズを開発し続ける。

プラスチック製のバス・トイレ・キッチン用品、アイデア生活雑貨の企画・製造・製造を行う

織物業界に革新

織物の既成概念にとらわれない高機能、新機能を付加できるものを開発

阪上織布が他の織物工場には作れない技術を持つのは、研究開発に力を入れているからだ。リーマンショックの不況時に「時間があつたから」と専務の阪上元彦氏は織物の理論や概念を勉強。糸密度の限界を超え糸密度を20%高めた【超高密度織物技術】を編み出した。超高密度織物は撥水機能の向上、ダウンプルーフ機能、スギ花粉のような微粒子も通さない空孔という織物の可能性を激変させた。実際、同社の超高密度織物が消防服にも採用されている。2014年(平成26年)に織物の用途や可能性を拡大する異素材を織り込む技術を開発。現在、特許出願中だ。これは、金属やケーブル、樹脂チューブなどを織物に織り込む特殊な技術で、その用途は身体能力を補うアシストスーツや体温保持スーツなどが考えられ、需要が見込まれる。



チューブを織り込んだ生地。「機能を付加し快適さを保つには、織物がその役割をはたさばいいのです」

昭和26年に織物工場として創業。産業資材織物、婦人衣料織物で技術改良を重ね、超高密度織物など新技術を開発

阪上織布(さかうえしょくふ)株式会社
大阪府泉南郡熊取町大宮 3-1525-1
TEL.072-452-1161
<http://sakaue-w.jp/>

デザインバリエーション

女性心をくすぐるオリジナルパッケージ技術を結集したデザインで表現

激化する化粧品市場は、パッケージデザインでの差別化が重要。「容器の形を変えず容器にのせるデザインでバリエーションをつけ、女性の心を捉えます」と製品統括部長の山田恵寛氏。化粧品などの容器は破損や薬品反応など制約が多く、容器自体への印刷は限界がある。そこで、同社はデザインの可能性を広げる特殊フィルムを採用。フィルムという平面での印刷なのでデザインの幅が広く、小さな文字も入れられる。フィルムの外側を樹脂でカバーし高級感を表現するだけでなく、傷が付きにくく割れにくい【夢現デコレーション】という機能も付加した。新たに、フタやキャップにエンボス調のデザインを施す【KAFKA】を発表。「培ってきた技術に企画力をプラスしたデザインで、容器の可能性を広げていきます。オ

リジナルデザインでも低コスト、小ロットで対応します」

医薬品ガラス瓶の樹脂製キャップに着目し、健康食品、医薬品の樹脂製容器の生産へ。防湿、気密性、軽量化と機能を付加するなど時代の変化に対応。2000年以降、化粧品容器に本格的に参入

三洋化学工業株式会社
大阪市平野区加美東 6-9-7
TEL.06-6793-3320
<http://www.sc-sanyo.co.jp/>



高いデザイン性が評価され、モナコで開催された【LUXEPACK in green MONACO】で受賞するなど世界からも注目される

微細加工を支えるレーザ技術

微細加工に欠かせないレーザ技術。高機能かつ高信頼性で生産現場を支える

スマホなど小型化・高機能化が進むデジタル機器製造に欠かせない微細加工。スペクトロニクスは、微細加工の市場拡大をにらみ産業用レーザに着目。欧米メーカーが圧倒的なシェアを占める中、日本では数少ない国産レーザ発振器、応用機器の製造・販売を行う。「機器の開発・提供だけでなく周辺機器の提案、ソフト開発まで一貫した対応で、企業の個別ニーズにも柔軟に対応しています」と代表取締役の岡田穰治氏。

同社は、短いパルス幅で高いピークパワーを持つ【グリーンピコ秒ハイブリットレーザ】を独自開発し、加工時の熱影響が少なくきれいな加工を実現。ガラスや樹脂等の高速切断や穴空け、リチウムイオン電池の金属材料のバリなし切断など、低コストで多様な加工にも対応。今後は産業レーザの需要が伸びているアジア市場にも進出。「独自の光・レーザ技術を駆使して加工技術の進歩を支えていきたい」と話す。



さまざまな新素材の加工に対応する【グリーンピコ秒ハイブリットレーザ】

レーザ発振器・光学応用機器の開発・製造・販売を中心に、レーザ加工に必要なレンズ等の周辺機器、およびレーザ・光学応用機器の受託開発・生産を行う

スペクトロニクス株式会社
大阪府茨木市永代町 8-8 国里ビル5階
TEL.072-624-0700
<http://www.spectronix.co.jp/>